

くろつち便り

今月の内容

共助会講演会(8/18)／野草折々-44-／
支部大掃除(7/25)／お礼とお願い(松下)／
日本を今、変えなきゃ／ごてれつの独り言／
九電へ廃炉申入(7/15)／憲法9条を永遠に／
金曜集会(8/6) **今回の金曜集会は9/3日/17:30**



↑会報QRコード

現退協働で大掃除

軽風けいふうというのは、木の葉が動き風見も動き出す風速4m前後の風を言うそうですが、7月25日は丁度そんな風が心地よく、照りもせず雨も降らず、大掃除にはもってこいの日だったのでしょうか。総勢40名ぐらい(退職組約20名)で支部大掃除がありました。昨年はコロナの影響で、現退双方の日程がかみ合いません



んでしたが、今年はいつもの年のように実施できました。

こういった行事がないと、なかなか現職、退職、お互い顔を合わせることがありません。休憩時間に自己紹介がありました。(顔には覚えがあっても、残念なこと、名前まではなかなか覚えられないのは、年のせい?)

教育会館は昔、先輩方がお金を出し合ってきたと聞いています。これからも大切に使用していきたいと思います。



上山修支部長

上山修さんの挨拶で、若かりし50年ぐらい前?にみんなで7万円ずつ拠出したことを思い出しました。このことは語り継がれていくべきだし、またそうするだろうと思います。

現退協働で、すっかりきれいになりました。(文責 樋園)



休憩時間に現職・退職、お互いに自己紹介

日本を今、変えなきゃ

日本をぐちゃぐちゃに

皆さん 安倍・菅政権誕生以来あまりに多くの事件・不正がまかり通って日本全体をぐちゃぐちゃにできていませんか。憲法無視の幾つもの戦争のための法律はもちろんです、未解決というより犯罪事件と言っていいことがいくつもあります。

森加計問題

森友加計学園問題では安倍元総理らが8億円をポンとまけてやったこと、お陰で公文書偽造



を強いられた赤木さんの命を奪いました。加計学園問題では52年間どこの大学にも認めなかった獣医学部を理事長が安倍の親友ということで超例外的に認められたというとてもない事件。



桜を見る会

さらに桜事件、いくつもの差別ごまかしが問題になりました。文化的功労者を招く会だったはずが、山口県安倍選挙区から800人も地元市民を招待し、一部の費用も負担していたほか、多くの面で不正が発覚した事件。地元市民は自分らだけ800人も招かれたことを恥じていない、告白も告発もしない山口市民に、恥を知れ!と投げつけたい。

河井事件、国会での嘘答弁、学術会議への介入問題

そして1億5千万円選挙違反事件、安倍総理の100回以上の国会でのウソ発言、さらに菅総理の初仕事学術委員のあの勝手な不承認問題。

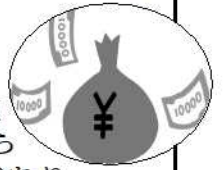
無策、暴挙、民主主義否定

そしてコロナ禍への政府の無策、沖縄では戦没者の遺骨が残る土を軍事基地の埋め立てに使うという戦死者への敬意も何もない暴挙を平然と強行しようと

しています。多くの問題を無視して五輪の強行、その結果、感染者が増え、お盆に故郷に帰るなど脅迫。問題が余りに多すぎませんか。

五輪の蔭で

もう一つ加えます。今年6月IOC経理部長が電車にはねられるという謎の死がありましたが、この人は「五輪誘致の際に」使われたわいろの金の流れを知っていた人です。これらはみんな大事件として国会で白黒をはっきりさせ、国民に知らせるべきではありませんか。



今、変えなければ

でたらめが平然と認められている今の日本を、今変えなければ、今後の日本に希望はありません。全力で安倍・菅政権を糾弾しましょう。

もう一つ、6日の原爆記念日に菅総理は原稿を飛ばし読みしています。狂いの始まりでは? (金曜集会で/文 松下徳二)

金曜集会



8月6日、広島原爆のこの日は、金曜集会の日でもありました。天気も心配でしたが、20名ぐらいの有志が、夕刻イベント広場に集まりました。

行き交う車に向けて、シュプレヒコール、中には窓を開けて手を振って、賛意を示す人もいます。

シュプレヒコール！
原発再稼働はんた〜い！
原発はもういらな〜い！
原発廃止〜！
安倍も菅も辞めろ〜！
米永当選がんばろう！



↑久々に現職の人も参加

米永さんもマイクをとられました。

当たり前なことが当たり前
書いてあるのが日本国憲法で
す。・・・戦争を仕掛けた
日本は戦争で多くのものを失
いました。・・・今年も私
は、8月6日、9日、15日、
不戦を誓いたいと思います

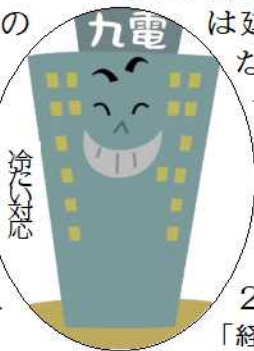


先般、九電に申し入れに行かれた道
下さん、九電の冷たい対応に「原発の事故を畏れ
て申し入れしているのに、私たちが何か悪いこと
をしているかのような
対応をされたことに大
変憤りを感じておりま
す」と訴えました。

**次回の金曜集会は、
9月3日です。**

九電へ申し入れ

7/15、大隅市民の
会・社民党・平和セン
ターの三者（松下・中
馬・真島・道下）は九
電鹿屋営業所に出向き、
川内原発20年延長反
対・再生可能エネルギー
への転換を求める申し入
れを行った。



中身は1・2号機特別点検の
実施について検討を進めて
いると回答。一方では現時点
では延長運転を決めてい
ないと言いながら、原
子力を最大限活用し
ていくと言う。この
回答は矛盾していて、
全く理解不能だ。

次の記事は7月1
2日付毎日新聞である。
「経済産業省は12日、

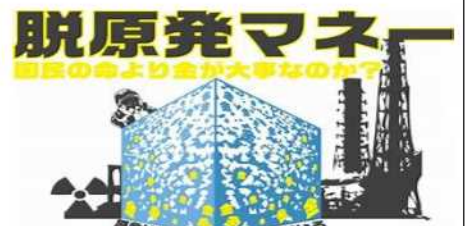
ところが九電側としては、
どうも正式の話し合いにはし
たくないようで、当初はロビー
で、文書なしの口頭での話し
合いを提案してきたという。

後日、文書の代わりに電話
で回答があったそうだ。その

原子力や火力、太陽光などの
発電コストについて2030
年時点の試算を有識者委員会
に示した。**最も安い電源が原
発から事業用太陽光に代わっ
た。**原発は東京電力福島第1
原発事故を踏まえた安全対策

費の増加などを反映して、前
回15年の試算より1割程度
上昇。1キロワット時あたり
「11円台後半以上」となり、
政府や電力業界が訴えてきた
コスト面の優位性は揺らぐこ
とになる。」

経産省でさえ原発はコスト
がかかるということを認めた
わけで、安全面だけでなくコ
スト面からも、できるだけ早
く原発から撤退した方が健全
なことは明らかだ。



野草折々-44-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ

ノリウツギ (アジサイ科)

日本各地の山地に自生する落葉低木。夏、枝先に円錐花序をつける。外側のきれいな花は蝶や蜂を呼び寄せる役目を持つ装飾花。内側にある無数の花は雄しべ雌しべを持ち種子をつくる。

糊空木(ノリウツギ)は樹皮に粘液が多量に含まれ、古くより和紙を作るときの糊として利用されていた。

写真は2020年8月29日 二俣川で撮影

演題

教職員共助会文化イベント

共助会講演会を終えて



戸高成人さん

講師 NPO法人ネットポリス鹿児島理事長 戸高成人さん

「児童・生徒を取り巻くネット社会の現状と対応」

「ネット依存とトラブルへの指導のあり方」

テレビなど)長時間利用による睡眠障害、脳機能への影響など具体的にデータを挙げながら詳しく語られました。また後半にはコンプライアンスとリスクマネジメントについて、SNS不適切投稿など過去の県内の事例等について話がありました。

わかりやすい話で満足したと参加者から感想をもらい、実行委員会としてありがたいことでした。2009年の教育講演会は心理カウンセラー内田良子さんの「今、学校に求められるもの」では東地区学習センターの会場がいっぱいになる230名の参加でしたが、それ以降100名前後での参加となっております。

今後も教育講演会を続けていきますが、くろつち会の皆様から、こんな話を聞きたい、こんな講師を呼んではどうかなどありましたら、共助会肝属地区事務局

(0994-40-2375)までお知らせください。

(共助会肝属地区事務局)

矢野務

第17回肝属・曾於地区教職員共助会教育講演会は8月18日、リナシティで計画通り実施いたしました。県内も感染拡大が心配される時期と重なり、当日の午前中は、講演会への参加希望者から開催有無の問い合わせ電話が鳴りやまない状況でした。「実行委員(15名)で感染予防対策の万全を期して予定通り開催します」と対応することでした。

まず会場の前列3列は締め切り、座席は2つ空ける、講演の中ほどで休憩を入れての換気、入り口ドアは終始全開など

対策を講じたところ。講師も距離を十分とった上に演台にアクリルボード、マスク着用で話をしてもらいました。

例年講演終了時に質疑応答を設けていましたが、講師から会場でのマイクの使い回しは感染対策上適切でない、メールアドレスにてWeb上で受け付けるということで今回は中止といたしました。

講師はネット上の会員交流サイト(SNS)などを調べ、子どものトラブルがないかチェックするNPO法人ネットポリス鹿児島理事長の戸高成人さん。180センチのがっちりした体格からよどみなく流れる

講話に時間はあっという間に過ぎたように思います。

子どもたちのメディア機器(ゲーム機器、スマホ、



お礼とお願い

松下徳二

ハンセン病問題(特に国賠訴訟)にかかわる「会」として発足した「共に歩む会」が、もう22年目を迎えています。この間の活動の中心はくろつち会でした。熊本での千人集会、2千人集会にくろつち中心にバス2台で参加などということもありました。もう詳細は思い出せませんが、

20年はすごい年月です。共に歩んでといつもお願いしてきた者として、くろつち会の皆さんへの感謝の思いは増すばかりです。

が、やはり20年間です。足腰の衰えもですが、最近私は、ぼん

やり時間が増え、物忘れぶりもひどく…「歩む会」の活動にも支障頻発、迷惑存在になっています。そのため、会の代表を同じくくろつち会役員の茶園亮一さんに交替してもらうことにしました。(会の役員としては残りますが)。

茶園さんは活動力がすごい人ですので絶対的に信頼し、すべてをお任せすることにしていきます。くろつち会の皆さん、今後とも「会」、「会の活動」にご協力よろしくお願い致します。

(なお、最近、高齢、病弱、「会報」が読めなくなった…と退会を希望される方がいらっしやいます。当然です。遠慮なくご連絡ください。感謝の思いは消えません)。



給水塔

第20回くろつち会GG大会

グラウンドゴルフ大会、コロナ禍ですが、屋外スポーツということで、実施は支障がないということです。

日時 10月10日(日)

予備日17日(日)

受付 8時30分/開会9時

会場 かのやグラウンドゴルフ場 Dコース

参加料 一人300円

申込(10月4日まで)

TEL・Fax 0994-40-2375(矢野)

(携帯)090-5736-6677

詳細は別途案内の通りです。

憲法9条を永遠に

世界に「永遠の9」を

2021年、世界自然遺産に登録された南洋の美しい海。

76年前、鹿屋の基地から飛び立った若い命が

無念の想いを残して散っていった海。

沖繩からの疎開船が襲撃され、力尽きて沈んでいった学童たちの魂が眠っている海。

いままた、この海のおかげで、二つの大国の覇権がぶつかり、戦争に勝つための訓練が拡大している。

どんな戦争にも、「正義」なんてあるはずがない。軍事力ではほんとうの平和は保てない。

いま、新型パンデミックが世界中で猛威をふるっている。世界は対立ではなく、各国が力を合わせてひとり一人の命が大切にされる世界に共に向かうときだ

私たちは戦争をふたたびおこさせないためにいまこそ

憲法9条を世界中に広めたいと思う

(南九州新聞8月12日掲載)

「9条の会おおすみ」では毎年、8月終戦記念日の頃の南九州新聞に反戦を訴える意見広告を出しています。今年8月12日付けの朝刊に掲載されました。

上の詩はそこに掲載された冒頭詩です。9条の会のメンバーをはじめ意見広告に賛同して下さった方々の総意が込められています。(原案は恐らく、9条の会の菊水さんでしょうか。新聞では一行の文字数に制限があるせいでしょうか、つながりが変な箇所がありましたので、一部、改行の仕方を変えました。)

54年ビキニ実験の年、ラッセル・アインシュタイン宣言にも名を連ねた湯川秀樹が65

年5月3日に行った講演で、「・・・ラッセル・アインシュタイン宣言が戦争の廃絶を呼びかけているのに対して、憲法はすでに日本が自ら戦争を放棄することによってこれに代えていた・・・」と述べて、憲法9条の前文は、国民が自らを助けるためにとるべき唯一の現実的態度だと言い切っています。(小沼通二著「湯川秀樹の戦争と平和」岩波ブックレットより)

「9条」「平和」「戦争」「核兵器」などは密接につながった概念ですが、菅義偉の頭の中では、全くばらばらな概念になっているようだ。

広島市長が平和宣言の中で、

1月に発効した核兵器禁止条約への参加を呼びかけたのに対し、菅はスルーしただけでなく、「核兵器の非人道性をどの国よりもよく理解する唯一の戦争被爆国」とか「核兵器のない世界の実現」など最も肝心な箇所を

読み飛ばしました。意図的か?と疑った人も多かったと思います。かねて平和に後ろ向きな首相ですから、疑われるのも当然です。

上の詩にあるように、これからの世、ますます「9条」の精神が重要になってくるのは間違いないことだと改めて思いました。(樋園)



ごてれつ 一ふくさ語 ごとれつのはり言

◆ある日から右肘に痛みを感じていた。妻に蹴られたのでなければどこかで打ったんだろうが、覚えていない。今ではだいふ回復したが、気になる。

19年7月号で紹介した「すごいトシヨリBOOK」(池内紀著毎日新聞)に、「一時的記憶脱落症」というのは老化の始まり、とある。それが進行して「記憶脱落症」、更に進むと「忘却忘却症」で、忘れたということさえ忘れてしまう症状らしい。僕はそこまではないが「一時的記憶脱落症」から少し進行したぐらいの症状かな。

それにしても、この右肘、いつ・どこで打ったんだろうか。

◆8月17日、鹿屋市全域に警戒レベル3【高齢者等避難】発令のニュースを見て、はたと気づいた。「そういえば自分も高齢者だ。」すると高齢者の妻、「人ごとみに考えてたけど」

◆大河ドラマ「時宗」の原作者で盛岡市在住の作家、高橋克彦氏によると、東北弁に「武器」を表す言葉はないそう。元来、日本人は、かように平和を希求する民族なんだろうな。(残念ながら氏は本はまだ手に取ったことがない)

◆社会福祉士の藤田孝典氏は「下流老人」(朝日新書)の中で、「年収400万でも将来生活保護レベルの暮らしになる」「死ぬ直前まで働く社会がはじまる」「下

流老人は過労で死ぬ」などと述べている。冗談じゃない。だれがそんな世の中にしたんだ!

◆「どうせ死ぬから言わせてもらおう」(池田清彦・角川新書)に、「オリンピックは『平和の祭典』という美名のもとに、国民から集めた税金を、利権を握る人々や団体に横流しし、さらにはボランティアという、これまた美名のもとに集めた善意の人々を無償でこき使って巨大な儲けを独占する装置」だと指摘している。その穴埋めはどうする?

五輪後に待っているのはコロナ蔓延と、教育・福祉関連予算の削減それに増税が必定と想像できる。いや、そうさせてはならない!

